

豊岡市新文化会館 整備基本構想・基本計画策定委員会 (第5回)

資 料

2019.05.18

1. 前回（第4回）委員会のまとめ
2. 基本計画策定までのスケジュール
3. 第1回ワークショップの結果
4. 施設構成および規模について

1. 前回委員会について

主な意見（基本構想案について）

- 基本構想は大きな方針である。細かい部分は基本計画で決める。

■ ホール客席数について

- 1,000席に拘る。大都市では多様な施設を選べるが**但馬では選択肢がない**。今後**1,000人以上のイベントができなくなってもよい**か。
- 1,000席とすると小さいホールが別に必要になるが、そこまで**予算がない**。
- 豊岡市は「**小さな世界都市**」を目標を掲げており、「**小ささ**」の魅力をもっと押してもよい。
- エンタメにも格差が広がっており、コンパクトシティ向け、フェス向きなどあるが、中規模ホールはあまり現代のニーズに合っていない

主な意見（基本構想案について）

■市民の活動を支援し、文化を育てるホール

- 豊岡には、練習・体験したいという市民、自分たちで創作したい人が多い。
「文化を育てるホール」を強く押しても良い。
- 市民が自分たちで作っていく劇場、市民参加の劇団が自分たちでプログラムを作って市に売り込んでいるところもある。
- 運営に関しては、**地域の人材をうまく使い、大学も利用**すると良い。
- 海外では、**アートが先にあって劇場**がある。日本は逆で、劇場が先で汚さないできれいに使ってというスタンス
- **市民活動スペース**は非常に重要で、**活動したい人と市の人と一緒にになれる取り組みやスペース**が必要
- 市民プラザが創作活動しているが、あまり広まっていない印象
- これまで市民が進めてきた活動を、あたかも新しいもののように行う市の取り組みが多い。**これまで頑張ってきた人もうまく取り込んで欲しい。**

主な意見（基本構想案について）

■ 日常的に文化にふれるホール

- 日常的に居心地の良い場所にする劇場が増えている。
- 劇場情報や文化情報をモニターに流し、**来館者はそこにいれば何らかの情報を得られ文化に触れられる**、という感覚が持てるまでにする必要がある。

■ 施設の個性・特徴づけ

- 新施設には音響などの何か**個性・売りが必要**である。
- レストラン、カフェは必要。**舞台芸術系の情報センター**も良い。
- **バスターミナルを併設**するのも良い。難しいかもしれないが、駐車場ありきではなく視野を広げるべき。
- **食は文化でありクリエイティブ**な場となる。和食などを取り上げれば学びたい海外の人もあるだろうし、**オンリーワンの施設**になるのでは

主な意見（基本構想案について）

■ 利用料金など

- 利用料の減免は大きな問題である。**市民に対してどれくらい減免して**くのか**が重要**
- 市は外部のアーティストには暖かいが、市民に対しては厳しい。**豊岡の地域の人たちが利用できる**ように料金を考えて欲しい。
- 使用料は全国的問題。高度成長期と異なり行政が負担するのは難しい。**利用者が少ないと受益者負担が増える**。
- 市民自治においては**行政サービスに頼りすぎ**てはいけない。会館運営には公的資金が使われており、使わない人もいることは考えなくては**いけない**。**持続可能な方策**を考える必要がある。

主な意見（基本構想案について）

■ その他

- 駐車場は広く欲しい、できれば屋根があると良い。
- 会議室は要るのだろうか
- 障害者の雇用は支援は是非実現して欲しい。

■ 計画づくりに取り組む姿勢など

- アートのかで人口減少を食い止める取り組みをすすめる上で、**豊岡にはカ
ジュアルなまちの良さ**があり、**汎用性や多様性を認め合う地域**になること
で、沢山の可能性がみえてくる。
- 人を育てる、文化を成熟させることは**年月をかけて**やらなければならない。
- **市民ニーズと作ろうとしているホールが合致**しているか考え続けること
- 2025年が最短での開館となる。**社会情勢の変化を意識**しながら検討する。

2. 基本計画策定までのスケジュール

- ① スケジュール(案)
- ② 検討委員会、ワークショップのテーマ(案)
- ③ シンポジウム企画案

2①基本計画策定スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
策定委員会		第5回 整備方針確認 施設構成・規模 敷地 1418 ○●		第6回 施設計画・配置計画 敷地検討 概算事業費 23 ○●		第7回 施設計画・配置計画 管理運営・事業手法 基本計画素案 ●	●	●	第8回 基本計画案 ○●			
シンポジウム						●	●					
市民ワークショップ		11 ●		2528 ▽●	25 ▽	22 ●	25 ▽					
パブリックコメント												
基本計画策定					素案(案)作成	修正素案①作成	シンポジウム反映修正基本計画素案②	調整修正	パブコメ反映修正基本計画案作成	修正		
施設構成・規模	—————											
配置・施設計画		—————										
概算事業費		—————										
管理・運営形態				—————								
事業手法・スケジュール				—————								

基本計画策定・発表(市)

2 ②策定委員会、ワークショップのテーマ

策定委員会			市民ワークショップ		
回	日程	検討事項	回	日程	テーマ・内容
5	5月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針の確認 ・施設構成について ・規模、敷地について 	1	5月11日	<u>施設の機能や規模を 考えよう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な諸室と仕様の検討
6	7月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・施設計画・配置計画について① ・敷地検討について ・概算事業費について 	2	6月28日	<u>施設の配置を考えよう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・諸室の配置を考える
	9月～ (持回り)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設計画・配置計画について② ・管理運営について ・事業手法について ・基本計画（素案） 	3	8月22日	<u>施設の運営を考えよう</u> <ul style="list-style-type: none"> ・事業、規則、組織、広報、 市民参加等の柱を考える
9月23日 シンポジウムの開催（概要は次頁参照）					
	(持回り)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画（素案）調整 			
7	10月 予定	<ul style="list-style-type: none"> ・前回検討事項の深耕 ・基本計画（素案） (パブリックコメントへ) 			
8	12月 予定	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画（案） 			

2 ③シンポジウム企画案

「新文化会館について考えたり語ったりするシンポジウム（仮）」

目的：新文化会館のプロジェクトについて、市民に広くアピールする。
また、基本計画についてのパブコメ実施前に開催することによって、より多くの市民から意見をもらうきっかけとする。

日程：9月23日（月・祝）

場所：じばさんTAJIMA「多目的ホール」

登壇者：市長、藤野委員長、委員の中より数名、市民（1名）（以上、パネリスト）
TWS伊東（コーディネーター）、市民WS参加者

内容：①新文化会館プロジェクトの概要説明・本会の趣旨説明
②市民ワークショップの報告
⇒WS参加者に出席頂き、市民が考えた新文化会館像を発表してもらう
③各パネリストより、市民の提案に対する感想
④基本計画（構想含む）の概要説明
⑤ディスカッション～（議論テーマ未定）
（案1）豊岡市の文化芸術について （案2）公共劇場・ホールの昨今
（案3）豊岡市新文化会館のキーワード
⑥質疑応答
⑦総評、今後のプロジェクト（取組み）、パブコメについて

3. 第1回ワークショップの結果

3. 第1回ワークショップの結果

回	日程	場所	参加者数	テーマ
第1回	5月11日(土) 14時～16時	豊岡市民会館4階 大会議室	14名 (うち高校生3名)	施設の機能や規模を考えよう
大ホール	多目的ホール	【規模】 ・800～1000席 ・1000席 ・800席 【音響】 ・良質な音響 ・長い残響時間 ・声を通るように 【座席】 ・可動席ではなく、固定席 ・大きめ ・通路に出やすく ・舞台を見やすく	・長時間座っても楽なもの ・リクライニング ・コタツ ・障がい者用の席を広く 【楽屋】 ・部屋数を多く ・和室 (小楽屋2～3、中楽屋4、大楽屋3) ・机移動可(15～20人収容) 【トイレ】 ・女性用トイレを多く ・障がい者、子ども用トイレ	・おむつ替えスペース 【その他】 ・舞台裏を広く ・搬入搬出をやすく ・奥舞台を広く ・能舞台移動式 ・スロープ、撮影室、翻訳室、ユーティリティールームの設置 ・カーテンでホールを分ける ・座席の裏にモニター (プログラム・アンケートを表示) ・新しい大学と共有(利用・経費)
		【規模】 ・可動席400席程度 ・400席 ・300席程度 ・50人程度 【用途】 ・クラシックコンサート ・稽古 ・地域サークル発表会	【機能・設備】 ・遮音性を高く ・飲食可能 ・音響設備・照明設備の充実 ・大ホールの残響とほぼ同じに ・椅子、譜面台、部屋の大きさを 変えられる仕切りの設置	【楽屋】 ・5部屋程度 ・大部屋 ・鏡、洗面台の設置 【その他】 ・大ホールと近い距離に配置 ・搬入口：ホール脇から直接外に繋げる
官理運営部門	市民活動スペース	【事務室】 ・不要or極小 ・遠隔オペレーション(移動車) ・文化協会の事務室	【市民活動スペース】 ・サークルの運営活動スペース ・公共性の高い団体用の部屋 ・カジノ	
その他		・学校、通学路の近く ・公共交通の充実 ・入りやすく分かりやすい入口 ・1フロア(平屋) ・雪で滑らないように ・保育施設	・ペットを預ける施設 ・エレベーターを広く ・階段を少なく ・エスカレーターの設置 ・コートや長靴を置く場所 ・全館にBGMを流せるシステム	・ドッグラン、施設シンボル、 販売スペースの設置 ・災害非常食の備蓄 ・一時避難場所の設置 【駐車場】 ・500台 ・雨でも億劫にならないよう ・立体駐車場 ・駐車場と駐輪場を離す ・送迎をやすく

3. 第1回ワークショップの結果

創造活動部門	練習室・スタジオ 展示室・ギャラリー 会議室	<p>【練習室・スタジオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3室程度（50人用、30人用、10人用） ・部屋数を多く ・小さい部屋を多く ・鏡がある部屋（2.3人で練習） ・4.5人で体操の練習ができる部屋 ・和室16畳+板場3m×3m ・日常の稽古場所 ・防音でガラス張り ・音の出ない楽器の設置 →電子系楽器（ヘッドフォン着用可能）？ ・コンセント(多)、パイプ椅子、スピーカー、キーボード、防音装置、ダンスバー、壁面鏡の設置 <p>【展示室・ギャラリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2、3室 ・現市民会館4階会議室の半分程度 ・パネルを常設 ・レールの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・2、3室に分離可能 ・室温23.5℃、湿度55%を維持 ・壁面：穴あきパネル ・天井高4m以上 <p>【全室・指定なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5部屋以上 ・毎週定期で使用可 ・週3回定期使用できる部屋（5m×7m） ・汚しても気にならない部屋 ・各部屋にピアノを設置 ・床暖房、衝立（軽く、フレキシブルな）設置 ・外から見えるようにしたり、見えなくしたりできるように ・どの部屋も練習室として使用（遮音性） ・1回2時間の使用 ・使用料金を安く
交流部門	市民交流スペース 親子スペース 図書・情報スペース 飲食スペース	<p>【交流スペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート2面程度 ・机の移動可 ・天井が高く ・良質な音響 ・通路を活用 ・外と繋がった空間 <p>【親子スペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが走り回れる広さ ・子どもが気軽に集える空間 ・幼児から子どもまで遊べる ・子どもが騒いでも気を遣わないように ・映像が自由に観られる ・読み聞かせイベントの開催 <p>【図書・情報スペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強スペース（市民プラザと図書館のような） ・本棚（楽譜・スコア、漫画）、Wi-Fiの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話コンサートの開催 ・ハローワーク <p>【飲食スペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ、レストラン、地元料理の食堂、カフェ、居酒屋の設置 ・飲食スペースは1階の出入り楽な場所に配置 ・テレビ、冷暖房の設置 <p>【指定なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが気軽に使え、集えるスペース ・オープンスペースの広場 ・飲食可能 ・コンサート(ヴォーカル、アンサンブル)が可能なロビー(200~300人規模) ・ロビーで休憩、飲食ができるように

4. 新文化会館の施設構成および規模について

- 1. 整備方針の確認（基本構想）**
- 2. 新文化会館の施設構成および規模の検討**

4-1. 整備方針の確認 (基本構想)

- ① 基本理念
- ② 基本的な役割
- ③ 施設機能と構成
- ④ 施設規模
- ⑤ 管理運営に関する考え方

4-1.基本構想①基本理念

基本理念と5つのキーワード

人・地域・世代 を繋ぐ
文化芸術交流拠点



- ・豊岡市は、文化芸術によるまちづくりで「**小さな世界都市**」を目指す
- ・新たな文化会館は、市民やアーティスト等の安定的で継続的な文化芸術創造活動を支える**豊岡市の中核施設**
- ・優れた文化芸術の振興普及や創造はもとより、文化芸術を通じて人々に**安らぎや活力を与え、創造力や表現力を引き出し、市民生活を豊かにする様々な機会と場を提供する**
- ・**地域や世代を超えた交流活動を生み出し、豊岡市の魅力を内外に発信しながら、賑わいのあるまちづくりに繋げていく**

4-1.基本構想②基本的な役割

① 市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供する

- 身近に優れた文化芸術に親しみ楽しむ機会を提供、豊かさを実感できる場
- 安全快適に鑑賞できる環境、多彩で良質な公演ができる舞台環境づくり
- さまざまな方法で多くの市民が文化芸術に触れることのできる機会づくり

② 多様なレベルの文化芸術活動・創造拠点となる

- はじめての人からプロとしてステップアップを図る若手アーティストまで
- 日常的な練習・創作活動の場、それらの成果を発表・披露する“ハレ”の場
- 作品作りや施設運営・事業等に市民が主体的に参加・参画する機会を提供
- K I A Cや専門職大学等で生まれた作品発表、芸術監督登用など検討

③ 地域文化を次世代に引き継ぐ

- 地域に受け継がれてきた伝統芸能など、豊かな自然や歴史とともに地域に根ざす各地域固有の文化を再発見し、市域全体に拡げる
- さらに新たな価値を付加し、市域全体の文化の持続的な発展を目指す

④ 交流を生み出す、市民の居場所となる

- 気軽に立ち寄り、文化芸術に触れながら快適に過ごすことができる環境
- 世代や地域、文化芸術ジャンル等を超えて、新たな発見や出会いが生まれる場

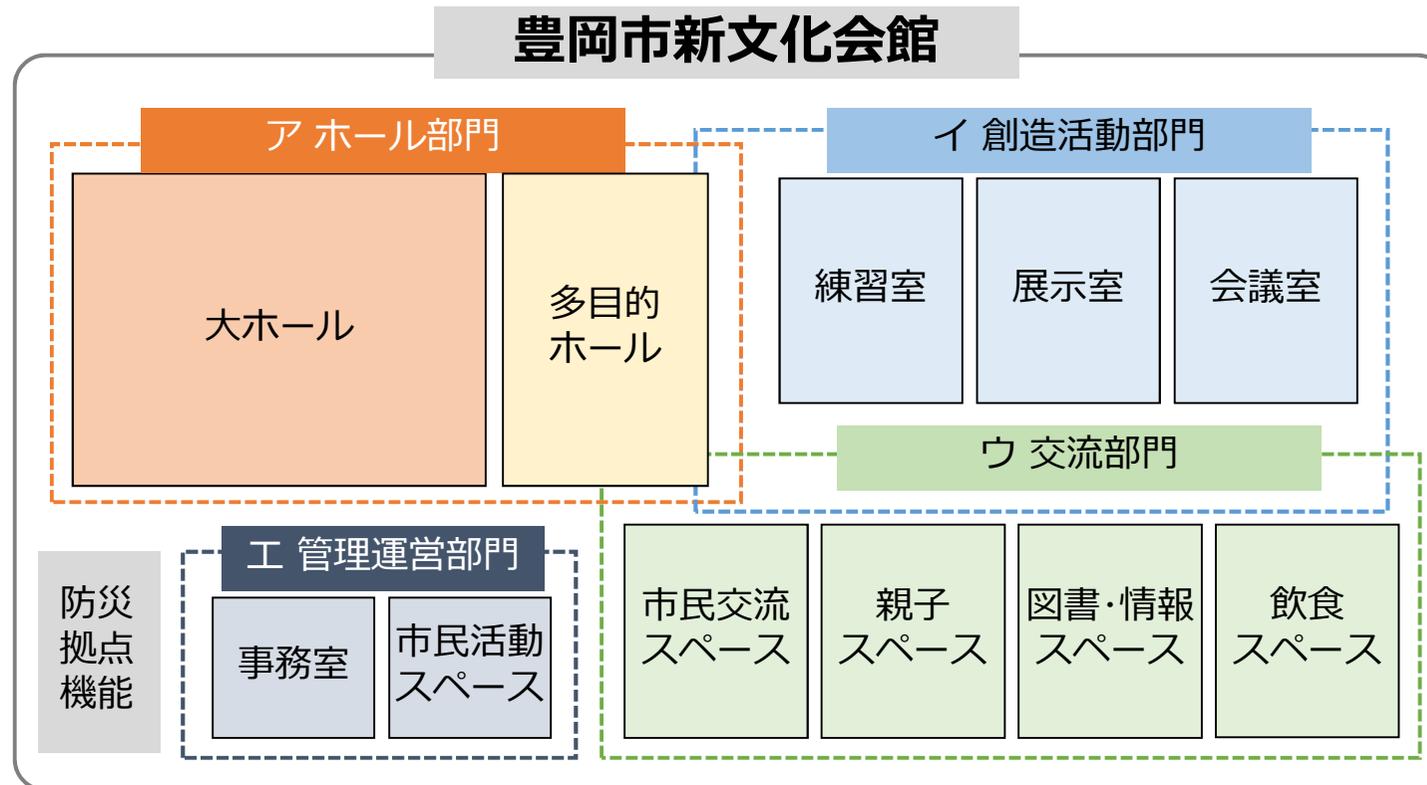
⑤ 文化芸術による「小さな世界都市づくり」を発信する

- 市民のサークルからプロのアーティストまで、文化団体や活動の紹介、各種イベント・企画の広報など、幅広い文化芸術の情報を発信
- 様々な機会や交流を通じて賑わいを創り魅力を発信し続け、人を呼び込みまちに活気をもたらし、市民の誇りが醸成されるサイクルづくりを目指す

⑥ 他の文化芸術施設と有機的に連携し、文化芸術の力を最大化する

- 新しい文化会館は、オール豊岡の文化芸術交流拠点
- 市内の先端的施設や活動、教育福祉や観光やまちづくりなどの関連分野との協力を図りながら、豊岡市の総合的な文化芸術環境の充実・強化に貢献

4-1.基本構想③施設機能及び構成



- ア ホール部門 大ホール：音楽ベースに様々な舞台芸術に対応
 多目的ホール：リハーサルから練習、発表会、展示会等にも対応
- イ 創造活動部門 市民の日常的な文化芸術活動を支援
- ウ 交流部門 催し物がなくても気軽に利用でき、施設全体のにぎわいを創出
- 工 管理運営部門 施設全体の管理を行う管理事務室、市民活動団体の活動拠点スペース

4-1.基本構想④施設規模

		想定面積	備考
機能部分	ホール部門	大ホール	3,000～3,800m ² 客席600～1,000席（2層構成） 楽屋、ホワイエ等含む
		多目的ホール	300m ² 平土間 200～300人収容 倉庫含む
	創造活動部門		300m ² 練習室、会議室、展示室等
	交流部門		200m ² 市民交流スペース、親子ひろば、 図書スペース、カフェ・レストラン、ロビー
	管理運営部門		100m ² 事務室、市民活動スペース
	小計		3,900～4,700m ²
共用部分		1,300～1,600m ²	廊下、共用便所、階段 等 小計（機能部分面積）の35%
機械室		800～900m ²	延床面積の15%
合計（延床面積）		6,000～7,200m ²	

4-1.基本構想⑤管理運営に関する考え方

(1) 管理運営の基本的な考え方

- 単に施設を貸し出すだけでなく、公演等の様々な事業企画の提供、市民の文化活動や参加を推進していくよう、継続的に働きかけていくことが必要
- 市内の公共施設はもちろん、専門職大学、市外の文化施設等も広域的な連携協力を積極的に図ることで求心力を高める。
- 市民はもちろん周辺自治体住民に対する積極的な広報活動を行うことも必要
- 上記の内容の詳細については、「管理運営計画」として、施設整備の基本構想、基本計画の考え方を踏まえながら、広く市民の意見を聞き、詳細をまとめて行く。

(2) 組織－①

ア 組織体制の考え方

- 各種事業やサービスを積極的に提供していくための部門と人員が必要。また、専門職大学との連携、専門性を持った人材の確保と適正な配置、市民の主体的な活動や参加を推進・促進していくような人材が重要
- 社会包摂の観点から、障害者の雇用の場や活動の支援も検討する

イ 管理運営主体の考え方

- 公の施設の管理運営をする方法として、「直営」と「指定管理者」があり、今後、ふさわしい管理運営主体のあり方を比較検討する。
- 業務毎に専門性をもった人員を配置する。（業務の例は右表）

項目
(ア)貸館事業
(イ)自主事業
(ウ)市民参画・協働
(エ)広報・券売
(オ)舞台技術管理
(カ)ビルメンテナンス
(キ)共用スペース管理

4-1.基本構想⑤管理運営に関する考え方

(3) 管理運営のシステムを構築

- 施設利用にあたっては、規則に則した運営のシステム構築が必要で、利用者の意見を取り入れながら、文化芸術活動の拠点として、柔軟性をもった内容と運用が求められる。

(4) 市民参加・市民協働に関する基本的な考え方

- 市民が「わたしたちのホール」と捉えられるよう、開館前からの積極的な市民参加・参画を進めながら、開館後も発展的に関わっていけるよう、環境整備や仕組みづくりを検討する。

(5) 運営する上での収入確保方策の検討

- 豊岡市新文化会館の主な収入源として、施設や設備等の貸出に伴う利用料金収入、自主事業のチケット代・参加費等の収入が想定される
- また、国や民間からの補助金・助成金の積極的な活用による資金獲得の検討
- 「ネーミングライツ」、「冠コンサート」、共催・協賛事業の資金協力、屋内や紙面等での広告スペースの運用など、様々な手法があるが、豊岡市新文化会館に適切な手法を検討していく

4-2. 施設構成および規模の検討

- ① 大ホール
- ② 多目的ホール（リハーサル室）
- ③ 創造活動部門、交流部門等
- ④ 全体規模と部門別面積

4-2①大ホール 基本的な考え方

● 用途	音楽利用性能を向上させる技術を取り入れた多機能ホール ・音楽をベースとした様々な舞台芸術 ・文化団体や学校利用・成人式等の式典利用など
● ホール形式	固定席または平土間（移動観覧席）
● 収容人数	600人～1000人程度
● その他	客席は複層化し、利用人数が少ない時は1階のみで利用可能

【関連諸室および仕様等】

分野	必要とされる諸室	数量・規模、仕様等
客席関係	客席、親子室など	・ゆったりとした客席、客席から通路まで出やすいこと ・高齢者や障害者も使い易い
ホワイエ関係	ホワイエ、主催者事務室、客用便所など	・女子用多数、障害者用、おむつ替えスペース
舞台及び舞台裏	舞台、備品庫、搬入ヤードなど	・十分な舞台/舞台袖サイズ、搬出入を容易に
技術諸室	調光操作室、音響調整室など	
楽屋関係	楽屋、スタッフ控室、楽屋用便所、備品庫など	・楽屋多数、大中小のサイズ、和室

※青文字は市民WS（5/11）で出た新しい意見

4-2①大ホール 形式および規模の考え方

<p>タイプ1</p> <p>1,000席程度 プロセニウム形式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 但馬地域の吹奏楽コンクール等の利用を想定する。 ● 現在市民会館で行われている用途の殆どをカバーし、一定の興行に対応。 ● 客席は複層とし、利用者数に応じて客席規模の調整を可能とする
<p>タイプ2</p> <p>600～800席程度 プロセニウム形式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民利用を主体とする ● 現在市民会館で行われている用途を概ねカバーする。成人式はじめ市行事に対応 ● 吹奏楽コンクール等は、全館利用にて対応する ● 客席は複層とし、利用者数に応じて客席規模の調整を可能とする
<p>タイプ3</p> <p>600～800席程度 平土間形式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民利用を主体とした超多目的ホール ● 1階部分は平土間とし、展示会やパーティー等にも対応 ● 1階客席は可動式、2階は固定席 ● ホワイエとの一体利用等も検討

4-2①大ホール 類似事例（タイプ1・2）

舞台芸術に重点をおいた多機能ホール。客席2層の施設例

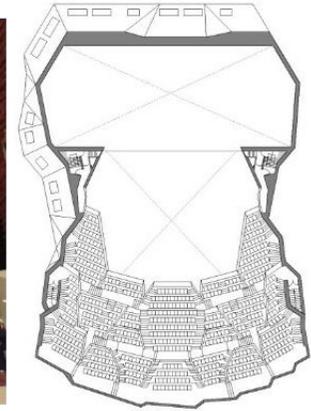
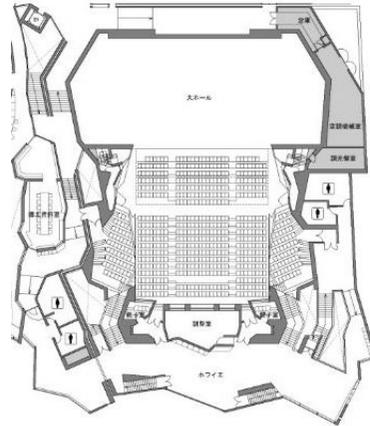


穂の国とよはし芸術劇場PLAT（客席数:778席 : 1階530席、2階248席）

4-2①大ホール

類似事例 (タイプ1・2・3)

展示等にも対応する平土間ホールの施設例



【ホールの利用事例】



～新たに開発された高性能な移動観覧席～



ホール・ホワイエ・外部



大茶会



菖蒲祭り(客席、ホワイエ後部開放)



式典



パーティ



スクール形式

由利本荘市文化交流館カダーレ (客席数:1110席 (内、車椅子席6席) : 1階536席、2階574席)

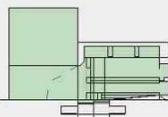
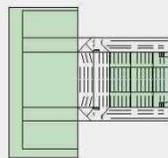
4-2①大ホール 類似事例（タイプ3）

展示等にも対応する平土間ホールの一施設例



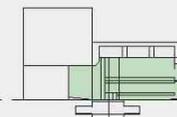
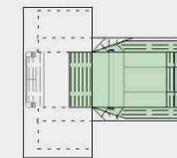
■劇場～平土間まで変化する大ホール

■演劇



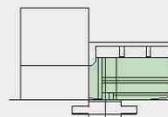
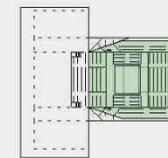
オペラ、ミュージカル、演劇等、各種舞台芸術が上演される。

■ダンス



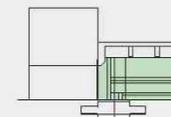
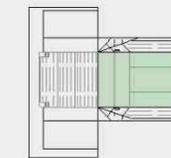
包囲型平土間形式により企業展示やダンスなどに利用。

■ファッションショー



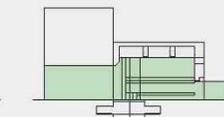
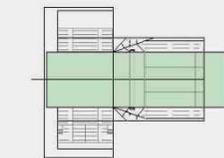
アリーナ形式によりライブパフォーマンスやファッションショーが可能。

■パーティー



パーティーやダンス、プロジェクターを多用した斬新な演出表現が可能。

■イベントスペース



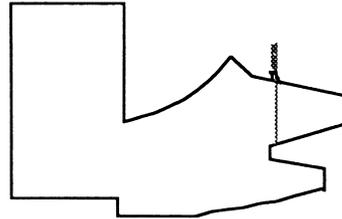
他の空間と連結させ、巨大なイベント・スペースを創出。開放時に、図書館や美術館の機能も果たす。

■9つの可動ユニットが幅広い用途をサポートする多目的ホール

茅野市民館（客席数:780席 : 1階556席、2階224席）

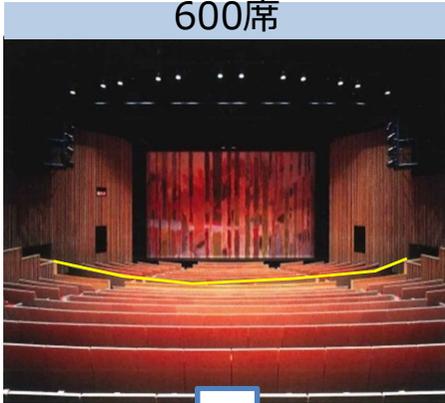
4-2①大ホール 類似事例 (客席可変事例①)

上階前部にカーテン昇降



フレサよしみ

600席



220席



小美玉四季文化館
(カーテン+仕切パネル)

600席



322席



アクトシティ浜松

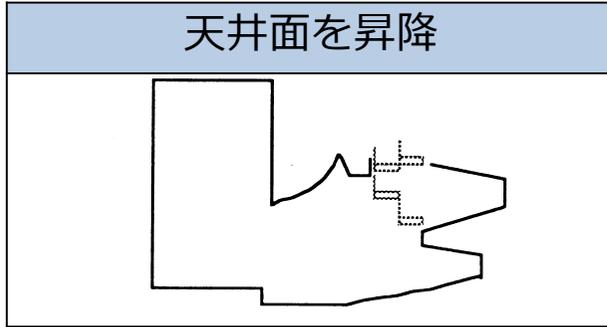
2,336席



1,582席



4-2①大ホール 類似事例 (客席可変事例②)

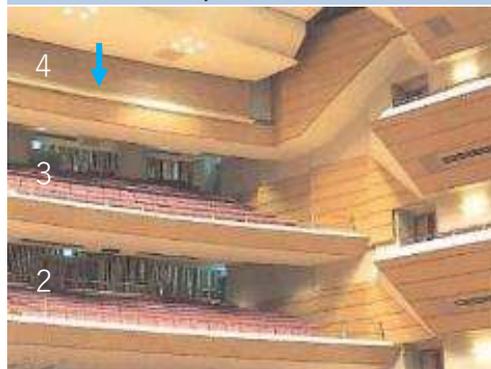


富山市芸術文化ホール

2,196席

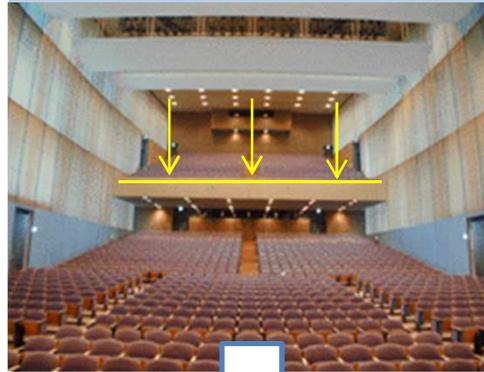


1,152席

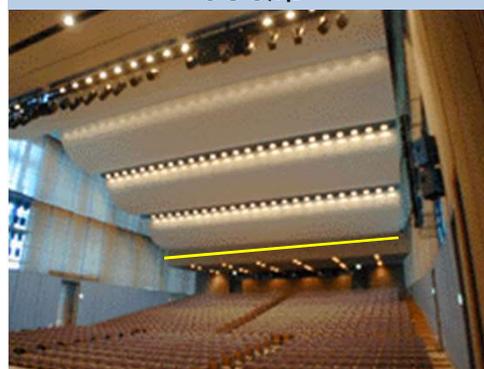


明治大学アカデミーコモン
アカデミーホール

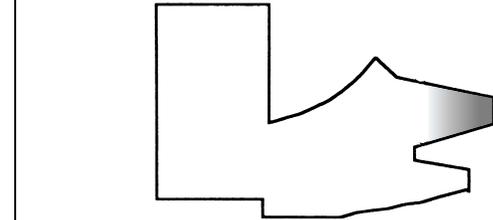
1,192席



686席

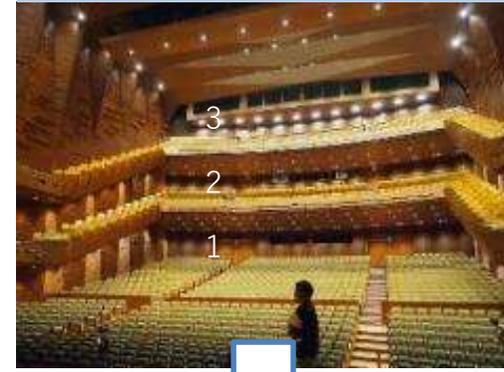


客席照明を一部消灯



上田市交流文化芸術センター

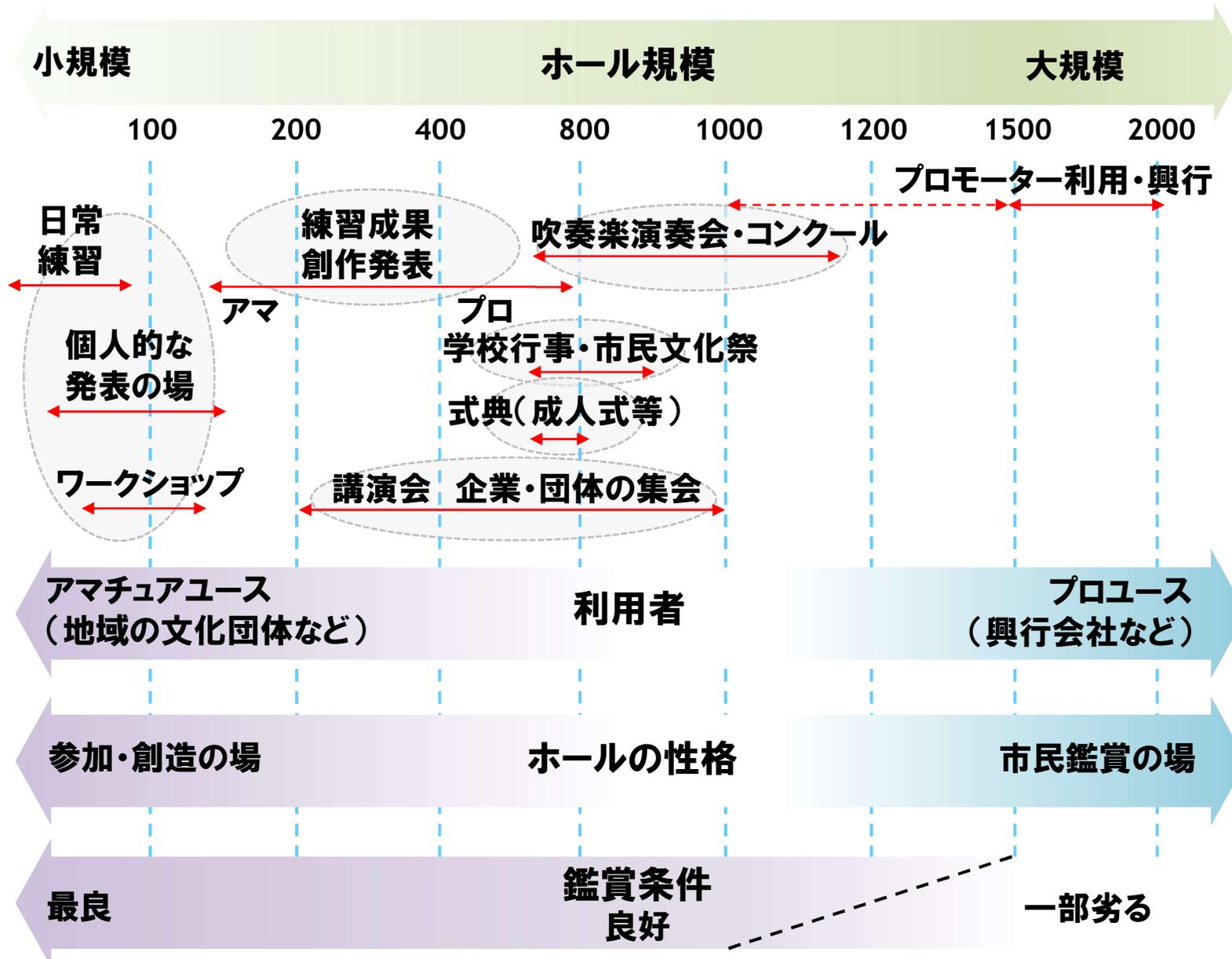
1,530席



1,002席



〔参考〕 ホールの規模と利用イメージ



※団体の規模や動員力によって対象規模は変わります

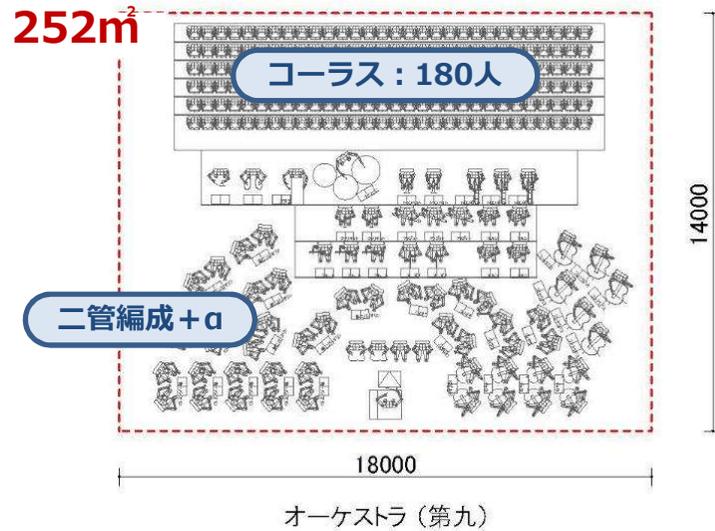
4-2②多目的ホール（リハーサル室） 基本的な考え方

● 用途	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公演のリハーサル ・ 市民の日常的な練習 ・ 小規模な発表会や展示会 ・ 大人数での会議
● ホール形式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平土間形式
● 収容人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 200～300人程度
● 大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 300㎡程度（15m×20m） ・ 大ホールの主舞台が収まる規模
● その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音響照明設備の充実 ・ バックヤードの充実 ・ 多目的ホールを本番利用する時は、大ホール楽屋を利用したり諸室を楽屋として転用できるように、動線や諸室配置に配慮する（諸室配置や動線等を工夫し、観客と舞台裏エリアを区分する）

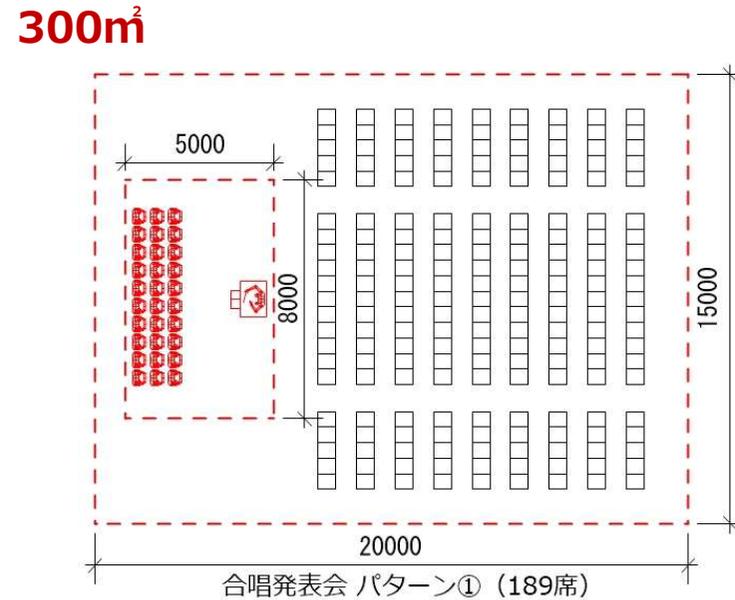
※青文字は市民WS（5/11）で出た新しい意見

4-2②多目的ホール（リハーサル室）レイアウトイメージ

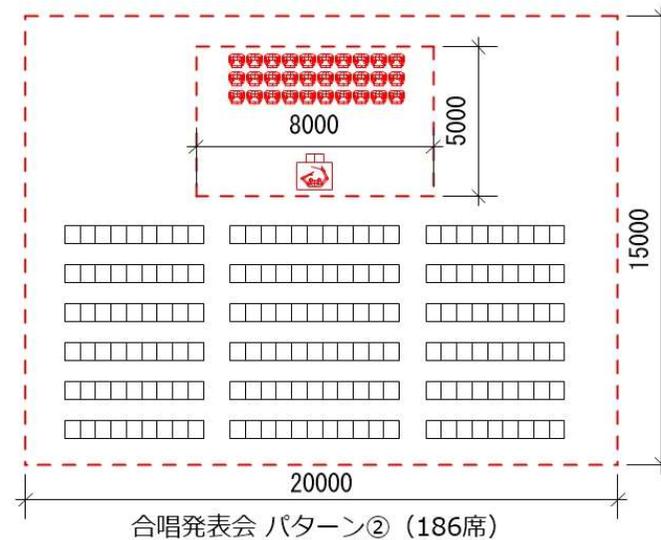
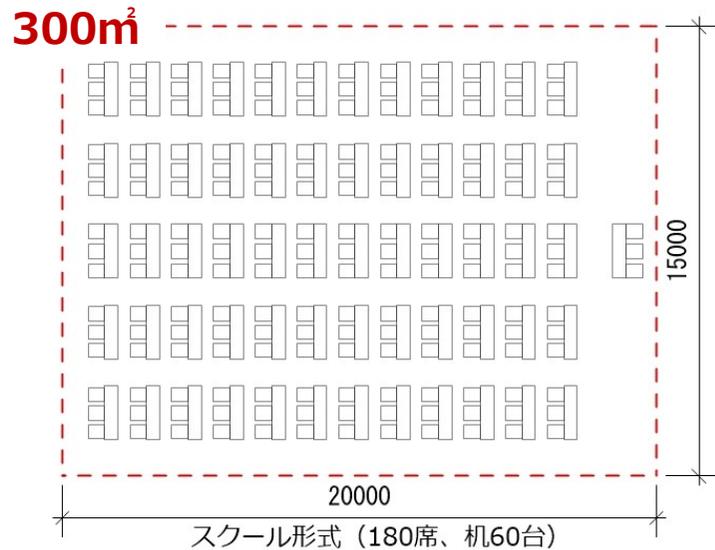
リハーサル



発表・ミニコンサート



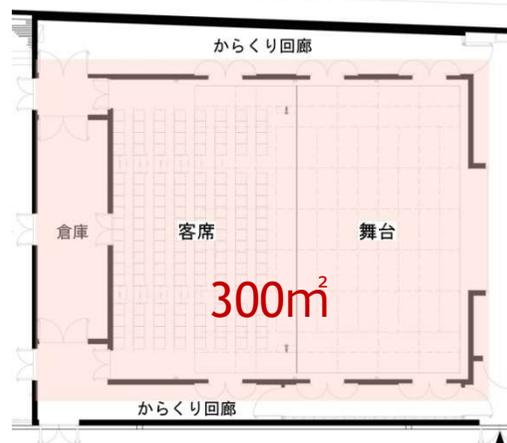
会議



4-2②多目的ホール（リハーサル室）スケール比較

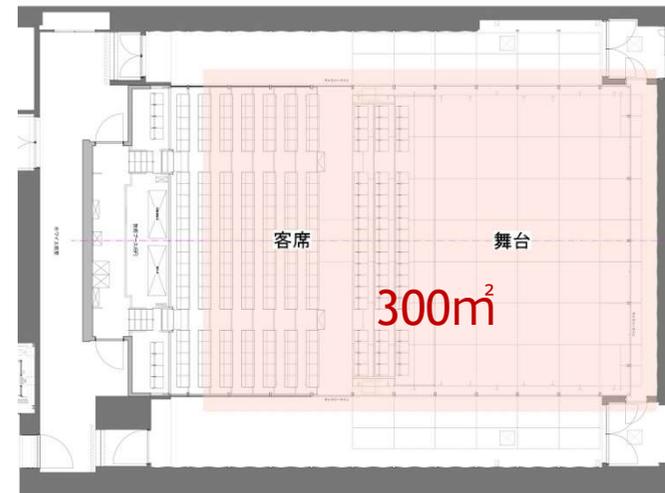
吉祥寺シアター 劇場（約200㎡）

舞台：間口12.7m×奥行7.2m
席数：189席



神奈川芸術劇場 大スタジオ（405㎡）

舞台：間口18.2m×奥行12.7m
席数：220席



4-1②多目的ホール（リハーサル室）イメージ

小ホール（フレさよしみ 213m²）

機能：遮音



小・中スタジオ（神奈川芸術劇場 401m²）

天井高：5.3m



スタジオ（松本市民芸術館 384m²）

天井高：4.8m（グラスウールパイプまで）
設備：移動型音響システム



マルチスペース（大船渡市民文化会館 246m²）

天井高：7.5m（キャットウォーク高さ）
設備：ビデオプロジェクター



〔参考〕小ホール of 整理

用途	実演芸術		その他			
	公演・発表会/大会・集会		映像	リハーサル・練習	展示・物販	パーティー
空間形態	劇場仕様			平土間仕様		
ホール型式と用途	シューボックス型	多目的ホール型	ブラックボックス型			
	クラシック音楽	多用途対応	演劇・映像			
空間および設備の要件	<ul style="list-style-type: none"> ・観客エリアの確保（もぎり、ホワイエ、トイレ等） ・舞台裏エリアの確保（楽屋、搬入等） 			・更衣室	<ul style="list-style-type: none"> ・受付スペース ・主催者控室 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール自体が楽器 ・舞台と客席がひとつの立方体 ・ホール容積が大 ・静寂性 ・豊かな残響 	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台袖 ・フライタワー ・良好なサイトライン ・各演目の最適音響 ・可動式音響反射板 ・舞台特殊設備（機構、照明、音響） ・映像設備 	<ul style="list-style-type: none"> 【演劇】 ・舞台形式の可変性 ・舞台特殊設備（機構、照明、音響） 【映像】 ・プロジェクター ・スクリーン ・舞台音響設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な照明、音響 【舞台仕様】 ・舞台でのリハ・稽古 【平土間仕様】 ・大ホール用のリハ・稽古 ・社交ダンスの練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示パネル ・展示照明 ・温湿度管理 ・給排水設備 ・床耐荷重大 	<ul style="list-style-type: none"> ・小ステージ ・円テーブル ・簡易な照明、音響 ・給排水設備 ・パントリー



4-1③創造活動部門・交流部門等 諸室の考え方

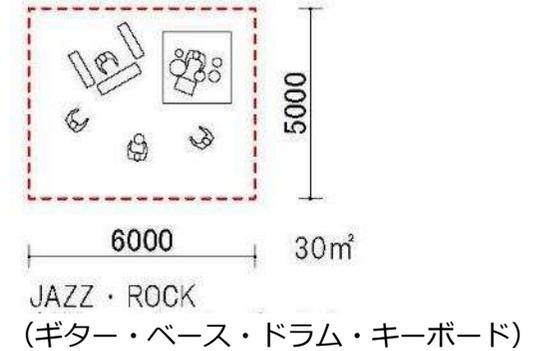
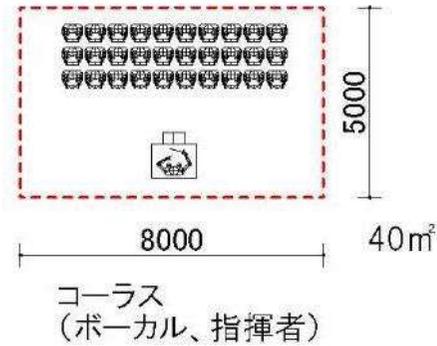
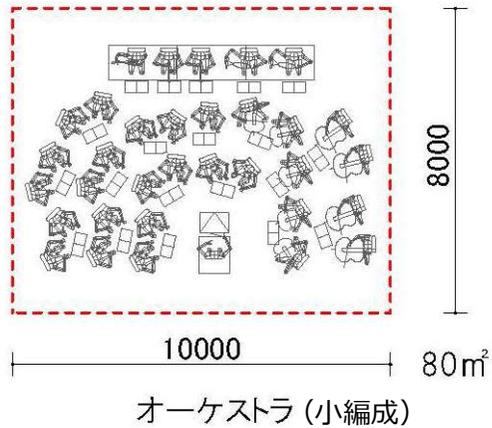
部門	諸室
②創造支援部門	<p>市民の日常的な創作活動、練習・発表等の活動に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習室 大きさの異なる部屋複数 防音/遮音性能、鏡/ダンスバー、外から見える/隠せる ・創作室 水や工具等の利用可、汚れても良い部屋 ・展示室/ギャラリー 分割利用可、天井高確保、パネル、レール ・会議室 ・和室 など
③交流部門	<p>催し物がなくても誰もが気軽に訪れ、施設全体のにぎわいを創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民交流スペース ・親子スペース 子どもの活動に対応 ・図書/情報スペース 勉強や情報収集に対応、机、書棚等 ・飲食スペース カフェ、レストラン等 ・ロビー など コンサート対応
④管理運営部門	<p>施設全体の管理運営拠点、市民参加にも対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理事務室 施設全体の維持管理、諸室貸出の管理を一体的に行う ・市民活動スペース 市民活動団体の荷物置き場や活動拠点

※青文字は市民WS (5/11) で出た新しい意見

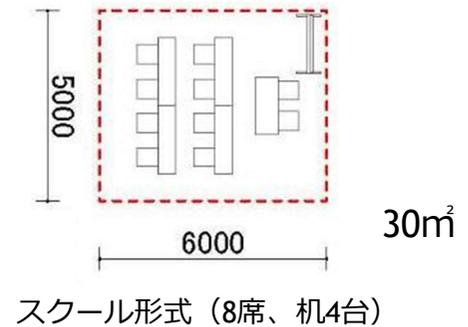
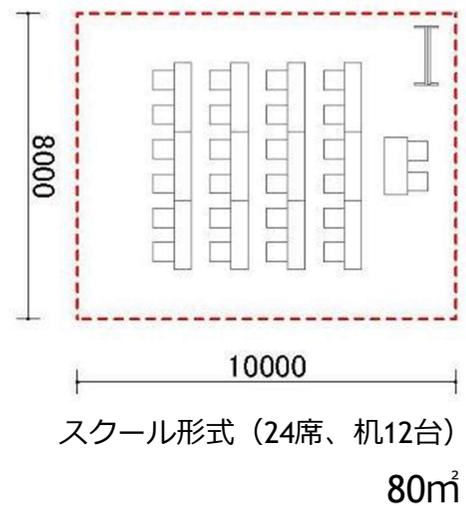
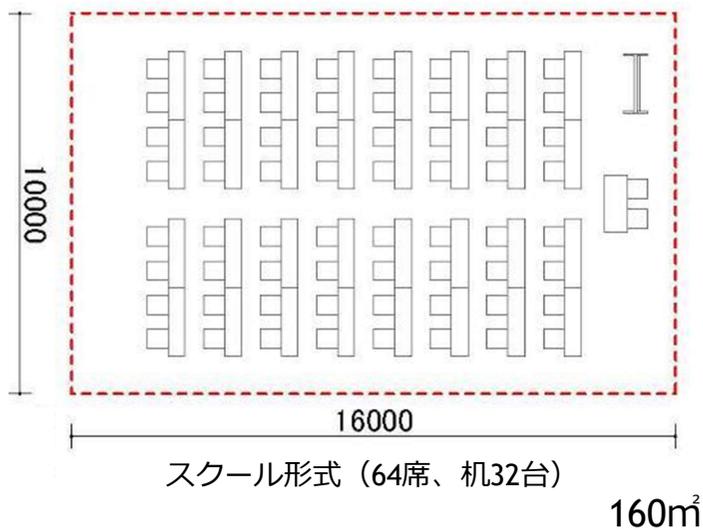
ひとつの部屋を多用途に利用できるようにすること（重ね使い）により、施設のコンパクト化を図る

4-1③創造活動部門 諸室レイアウトイメージ

■ 練習室



■ 会議室



4-1③創造活動部門・交流部門イメージ

練習室・会議室



発表会もできるマルチスタジオ
(下呂交流会館 135㎡)



大楽屋兼練習室
(都城市総合文化ホール 196.4㎡)



合唱の練習からライブまで様々な活動が出来るマルチスペース
(由利本荘市文化会館 125㎡)



会議室
(フレサよしみ 197㎡)

4-1③創造活動部門・交流部門イメージ



大アトリエ
(北上市文化交流センター 110㎡)
機能：水廻り・ベニヤ貼りの床



大アトリエを展示利用
(北上市文化交流センター 110㎡)



アクティブルーム
(北上市文化交流センター 73㎡)
機能：遮音



ミュージックルーム
(北上市文化交流センター 58㎡)
機能：遮音



アンサンブルルーム
(北上市文化交流センター 25㎡)
機能：遮音

4-1③創造活動部門・交流部門イメージ 練習・発表・展示スペース



共用スペースで練習
(北上市文化交流センター)



ステップホワイエでミニコンサート
(北上市文化交流センター)



ロビーで練習
(北上市文化交流センター)



ロビーを展示利用
(和光大学ポプリホール鶴川)

4-1③創造活動部門・交流部門イメージ 交流・たまり場スペース



ロビー
(茅野市民館)



情報コーナー
(北上市文化交流センター)



学習ゾーン
(黒部市国際文化センター)



交流スペース
(穂の国とよはし芸術劇場プラット)

4-1③創造活動部門・交流部門イメージ 重ね使いの事例

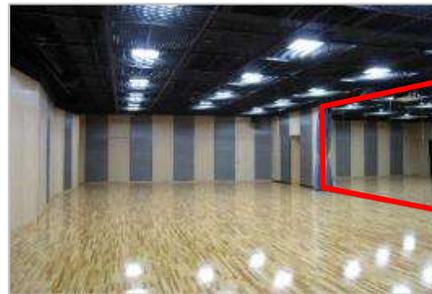
南相馬市民文化会館
ゆめはっと



三鷹市公会堂



下呂交流館 アクティブ



北上市文化交流センター
さくらホール



4- 1 ④施設構成および規模（案）

部門		諸室、備考	施設面積（大ホール席数別）			
			1000席	800席	600席	
機能部分	ホール部門	大ホール	ホワイエ、楽屋、便所等含む 舞台全体36m×18m、主舞台8間×8間	3,070㎡	2,765㎡	2,470㎡
		多目的ホール (リハーサル室)	平土間 200~300人収容 倉庫含む	320㎡	320㎡	320㎡
	創造活動部門		練習室（会議室、楽屋兼用）、創作室、展示室、和室、備品庫・楽器庫、更衣・シャワー室等	500㎡	500㎡	500㎡
	交流部門（共用スペース）		市民交流スペース、親子ひろば、図書・情報スペース、カフェ・レストラン、ロビー等	300㎡	300㎡	300㎡
	管理運営部門		事務室、 市民活動スペース（ボランティア拠点等）	120㎡	120㎡	120㎡
	小計			4,310㎡	4,005㎡	3,710㎡
共用部分		廊下、共用便所、階段 等 小計（機能部分面積）の約35%	1,510㎡	1,400㎡	1,300㎡	
機械室		延床面積の15%	1,020㎡	950㎡	880㎡	
合計（延床面積）			6,840㎡	6,355㎡	5,890㎡	

- ・創造活動部門と交流部門をあわせると、現市民会館の会館棟（リハーサル室を除く）と同規模
- ・諸室や空間はさまざまな機能に対して柔軟な対応ができる「多機能」な設備とし、「重ね使い」することで、規模やランニングコストを抑えてコンパクト化

現在の市民会館施設概要

開館年	1971年 (S46年)
敷地面積	8,000m ²
建築面積	2,610m ² (歩道橋を含む)
延床面積	6,464m ² (歩道橋を含む)

ホール棟	ホール	1,118席 <ul style="list-style-type: none"> 1階 844席 移動席152席、 車椅子席2席含む 中2階 52席 2階 222席
	会館棟	
	リハーサル室	163m ²
	楽屋1・2・3	—m ²
	多目的室	104m ²
	第2小会議室	60m ²
	談話室	27畳
	ギャラリー1・2	85m ² /58m ²
	大会議室	213m ²
	中会議室	63m ²
	第1小会議室	31m ²
	青少年婦人室	42m ²
	和室	10畳
	講座室	65m ²



外観



客席



リハーサル室



楽屋



大会議室



ギャラリー1・2

≒800m²

市民プラザ施設概要

開館年	1998年 (H10年)
敷地面積	8,705㎡
建築面積	- ㎡
延床面積	2,830㎡

ホール	ほっとステージ	298 席(可動席) ・ 平土間形式
	その他諸室	
	楽屋(2室)	38㎡
	市民活動室A	34㎡
	市民活動室B	34㎡
	市民活動室C	65㎡
	市民活動室D	65㎡
	練習室A	54㎡
	練習室B	25㎡
	練習室C	16㎡
	リハーサル室	105㎡
	ふれあい広場	174㎡
	子育て学習室A	78㎡
	交流サロン	250㎡
備考	・ 複合施設内	



ほっとステージ



客席



リハーサル室



練習室C (スタジオ)



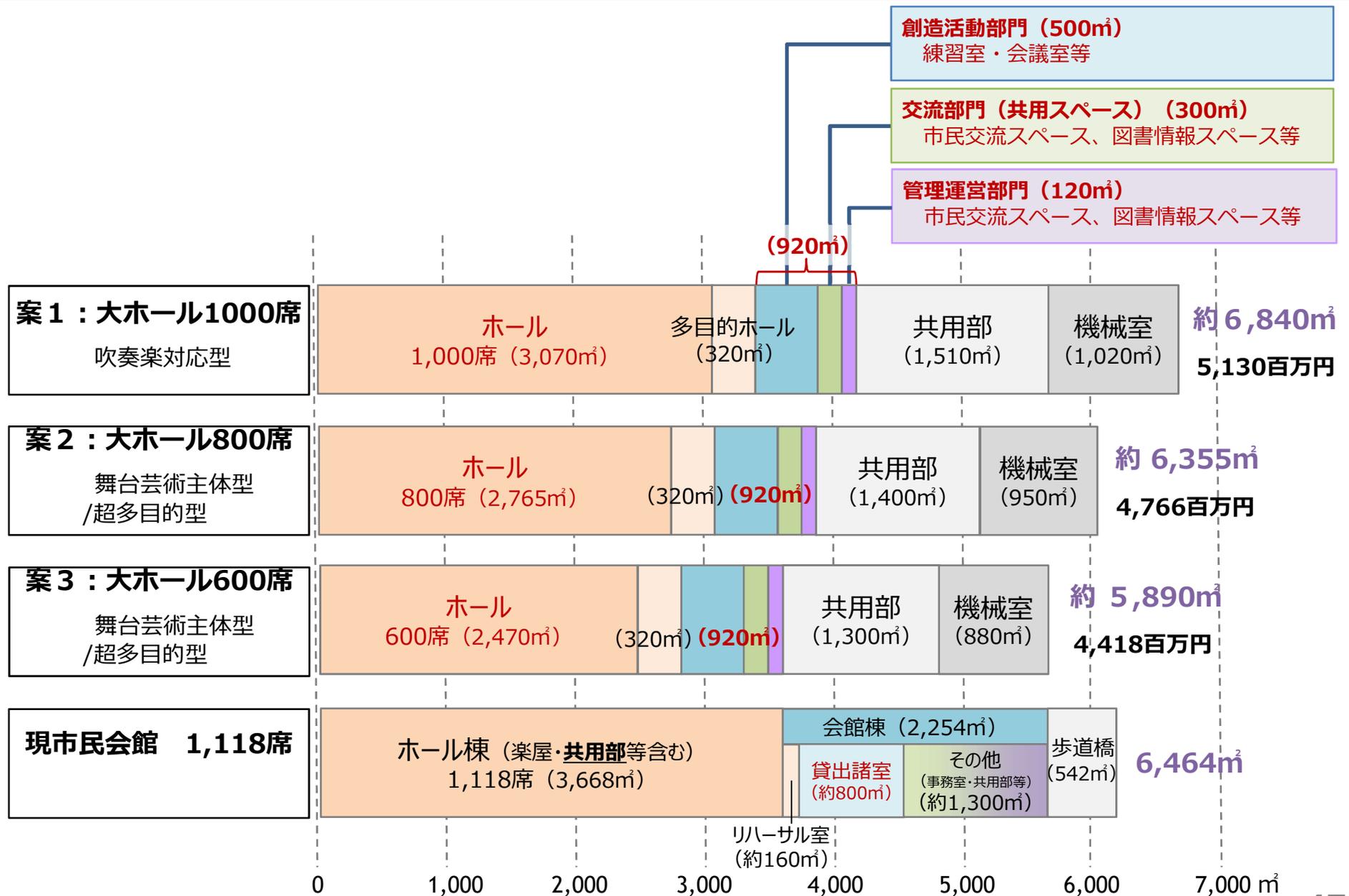
子育て学習室



交流サロン

≒ 400㎡

4-1④施設構成および規模（延床面積、概算整備費）

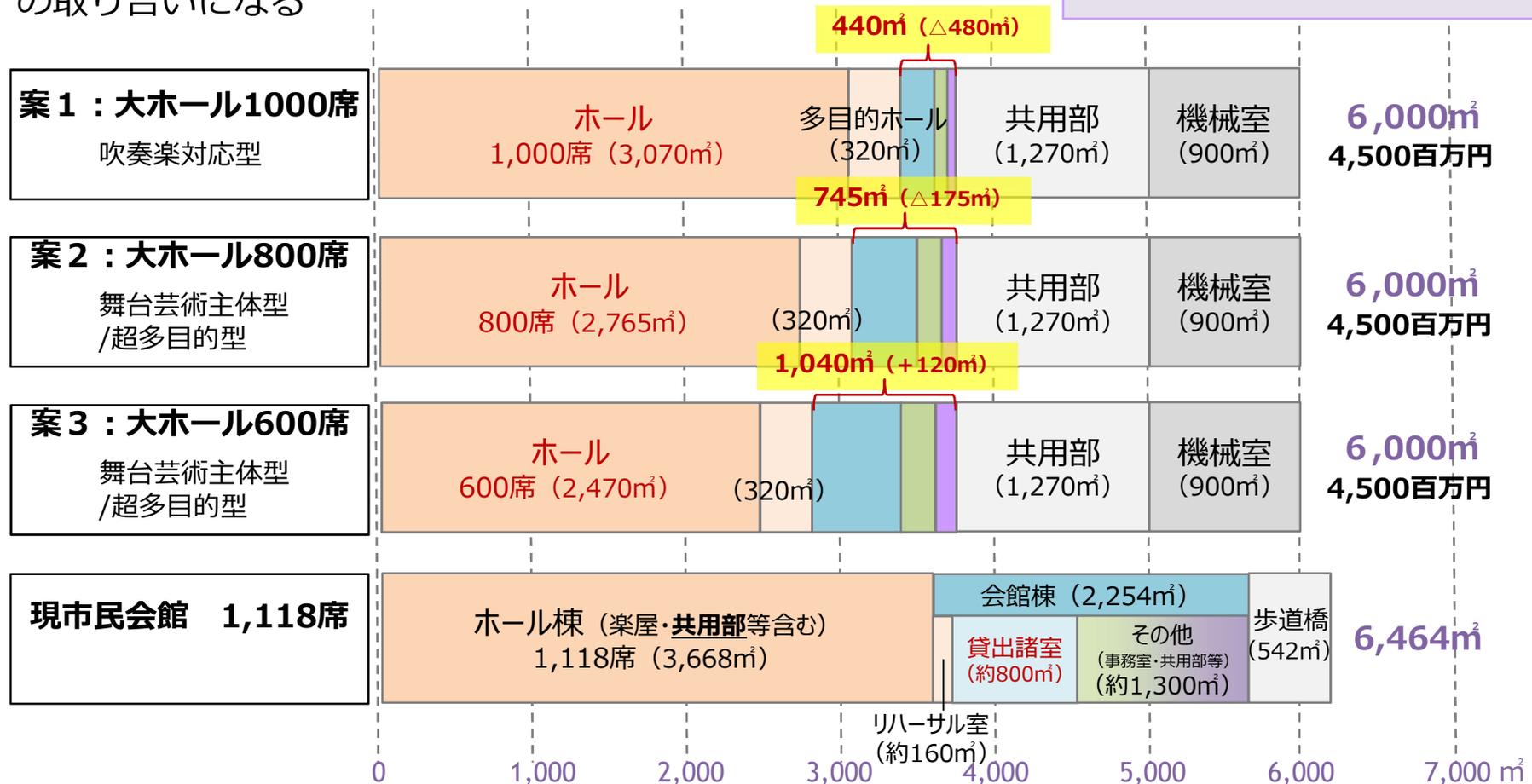


※建設費750千円/m²(税別) 第3回策定委員会資料より

4-1④施設構成および規模（延床面積、概算整備費）

全体規模 6,000㎡ とした場合の ホール席数別部門面積

共用部と機械室を一定とすると、
ホール部門と創造活動・交流・管理運営部門
の取り合いになる



※建設費750千円/㎡(税別) 第3回策定委員会資料より

類似規模施設事例①

施設名称	蓮田市総合文化会館 (ハストピア)		吉見町民会館 (フレサよしみ)		相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール		柳川市民文化会館 (仮称) ※建設中 (基本計画データ)		
所在	埼玉県蓮田市		埼玉県吉見町		兵庫県相生市		福岡県柳川市		
人口	61,817人		19,000人		30,147人		66,002人		
開館年	H28/2016		H17/2005		H28/2016				
敷地面積	7,009 m ²				10,619m ²		14,634 m ²		
建築面積	3,216 m ²				3,506 m ²		4,276 m ²		
延床面積	4,191 m ²		4,582 m ²		5,651 m ²		5,985 m ²		
主ホール席数 (1F/2F)形式	634席(515/119) 固定席		600席 固定席		606席 固定席		803席 1階：可動席 2階：固定席		
附帯施設	ホール部門			小ホール	150席 /213m ²	中ホール	260人 /311m ²	イベントホール	
				スカイホール	75席 /135m ²	小ホール	60人 /98m ²		
		楽屋(3)	87m ²	楽屋(5)		楽屋(3)	71m ²	楽屋(5)	465m ²
	創造活動部門	スタジオ(3) 創作ルーム 多目的ルーム 和室	435m² 10.4%	会議室(5) 和室	352m² 7.7%	スタジオ(2) 会議室(6) 和室(2) 調理室	476m² 8.4%	練習室(3) 会議室 研修室(5)	670m² 11.2%
	交流部門	ギャラリー 託児室 蓮の葉ロビー※	132m² 3.1% ※除く			市民ギャラリー エントランスホール 飲食テナント		展示ギャラリー	130m² 2.2%
	管理運営部門	事務室 ミーティングルーム		事務室 楽屋事務室		事務室 打合室 応接室		事務室 楽屋事務室	
その他					駐車場180台			49	

類似規模施設事例②

施設名称	四国中央市市民文化ホール ※建設中（実施設計データ）		八女市民会館		釜石市民ホール		富士見市民文化会館 （キラリ☆ふじみ）		
所在	愛媛県四国中央市		福岡県八女市		岩手県釜石市		埼玉県富士見市		
人口	88,767人		63,371人		34,806人		111,463		
開館年			H23/2011		H29/2017		H14/2002		
敷地面積	21,056 m ²		6,198m ²		5,293 m ²		19,939		
建築面積	4,021 m ²		3,041m ²		4,617m ²		7,359		
延床面積	5,986 m ²		6,694m ²		6,955m ²		7,358		
主ホール席数 (1F/2F)・形式	1007席		796席 固定席		838席(480/358) 1階：可動席 2階：固定席		802席(628/174) 固定席		
附帯施設	ホール部門	小ホール	212席 /245m ²	小ホール	252席 /273m ²	ホールB	200席 /210m ²	マルチホール	255席
		楽屋(5)	159m ²	多目的ホール	281m ²				
		楽屋兼会議室	12m ²	楽屋(4)	62.5m ²	控室(7)	142m ²	楽屋(9)	
	創造活動部門	練習室(2) 会議室(2) 和室	379m² 6.3%	創作練習室(3) ものづくり工房 小会議室 研修室(6) 茶室(2) 和室、調理室	823m² 12.3%	ピアノ練習室 スタジオ(3) 会議室 和室(2) ギャラリー	300m² 4.3%	展示・会議室 アトリエ スタジオ(4)	367m² 5.0%
	交流部門	展示エリア ユニバーサル室 エントランスホール ロビー	825m² 13.8%	ギャラリー(2) 交流室(2) 多目的ホール・ 情報発信コーナー 桜カフェ	529m² 7.9%	共通ロビー ホワイエ	899m² 12.9%	展示室	50m² 0.7%
	管理運営部門	運営事務室	87m ² 1.5%			事務室		事務室	
その他	駐車場379台 駐輪場20台				ホール前広場・ テラス（屋外）	799m ²	駐車場186台	50	

施設の事例① 蓮田市総合文化会館（ハストピア）

【人口：61,817人】[H31.4月現在]

開館年	敷地面積	建築面積	延床面積	主ホール席数(1F/2F) ・形式
H28/2016	7,009m ²	3,216m ²	4,191m ²	634席(515/119) 固定席

	名称	面積(m ²)	部門別面積(m ²)	延床比
ホール	どきどきホール	-		
	楽屋1	19.2		
	楽屋2	36.1		
	楽屋3	32.1		
創造活動	多目的ルーム	168	434.9	10.4%
	和室	27.9		
	創作ルーム	76		
	スタジオ1	122.7		
	スタジオ2	20		
	スタジオ3	20.3		
交流	ギャラリー	113	131.5 (※は除く)	3.1%
	蓮の葉ロビー※	-		
	託児室	18.5		
管・運	事務室	-	-	-
	ミーティングルーム	-		



どきどきホール



多目的ルーム



スタジオ1



ギャラリー



創作ルーム



蓮の葉ロビー

施設の事例② (仮称) 柳川市民文化会館

【人口：66,002人】 [H31.3月現在]

開館年	敷地面積	建築面積	延床面積	主ホール席数・形式
R 2 / 2020	14,634㎡	4,276㎡	5,985㎡	803席 1階：可動席 2階：固定席

	名称	面積(㎡)	部門別面積(㎡)	延床比
ホール	イベントホール	250		
	楽屋(小)1-1	465		
	楽屋(小)1-2			
	楽屋(小)1-3			
	楽屋(中)1-1			
	楽屋(中)1-2			
	楽屋ロビー			
創造活動	練習室(音楽)	180	670	11.2%
	練習室(ダンス)1-1			
	練習室(ダンス)1-2			
	会議室	490		
	研修室(中)1-1			
	研修室(中)1-2			
	研修室(大)1-1			
	研修室(大)1-2			
研修室(大)1-3				
交流	展示ギャラリー	130	130	2.2%



	名称	面積(㎡)	部門別面積(㎡)	延床比
管・運	事務室	-	-	-
	楽屋事務室	-		

施設の事例③ 八女市民会館

【人口：63,371人】 [H31.3月現在]

建物区分	名称	面積(m ²)	部門別面積(m ²)	延床比
ホール	● 小ホール	273		
	☆ 多目的ホール	281		
	● 楽屋A	12		
	● 楽屋B	12		
	● 楽屋C	21		
	● 楽屋D	17.5		
創造活動	● 創作練習室A	77	823	12.3%
	● 創作練習室B	41		
	● 創作練習室C	41		
	● ものづくり工房	160		
	☆ 小会議室	30		
	☆ 研修室	73		
	○ 第1研修室	51		
	○ 第2研修室	45		
	○ 第3研修室	86		
	○ 第4研修室	38		
	○ 第5研修室	38		
	○ 茶室1	21		
	○ 茶室2	15		
○ 和室	42			
○ 調理室	65			

開館年	敷地面積	建築面積
H23/2011	6,198m ²	3,041m ²
延床面積	主ホール席数・形式	
6,694m ²	796席・固定席	



【建物区分】
 ● 市民会館(交流棟) ○ 市民会館(研修棟) ☆ 文化会館

施設の事例③ 八女市民会館

【人口：63,371人】 [H31.3月現在]

建物区分	名称	面積 (m ²)	部門別面積(m ²)	延床比
交流	○ ギャラリーA	67	529	7.9%
	○ ギャラリーB	58		
	● 交流室A	74		
	● 交流室B	57		
	● 多目的ホール・ 情報発信コーナー	155		
	● 桜カフェ	118		

開館年	敷地面積	建築面積
H23/2011	6,198m ²	3,041m ²
延床面積	主ホール席数・形式	
6,694m ²	796席・固定席	

【建物区分】
 ● 市民会館(交流棟) ○ 市民会館(研修棟) ☆ 文化会館



ギャラリーA



ギャラリーB



交流室A



交流室B



多目的ホール



情報コーナー



桜カフェ